

# 3月定例会 (2月27日~3月25日)

## 平成27年度予算を可決

3月議会では、一般会計、特別会計、企業会計の平成27年度予算案10件が提案されました。予算額は、一般会計204億8,000万円、特別・企業会計254億4,099万2千円と合わせて、総額459億2,099万2千円で、前年度当初予算と比べて9億441万8千円(2.0%)の増となっています。うち、一般会計は前年度当初と比べて24億8,000万円(13.8%)の増となっています。

分割付託された総務委員会と建設経済厚生委員会において、3日間にわたり慎重審議が行われた結果、3月25日の最終日には、いずれも原案のとおり可決されています(議決結果はP7に掲載)。その主な審議の内容は以下のとおりです。

## 委員会審議(抜粋)

### 【歳入】

**問** 法人市民税(約4,800万円)及び固定資産税(800万円)の減額理由について。

**答** 法人市民税は税制改正により法人税割の税率が引き下げられたためであり、また、固定資産税は評価替えを迎え、昨年とほぼ同額の家屋に比べて土地の評価額が下がったためのものであり、全体約33億のうち約800万円と影響は非常に少ないものです。

**問** 市債残高の状況について。

**答** し尿処理施設・道路整備・学校施設整備等の大型事業実施に向け、交付税を加味した市債の活用を図っています。平成27年度末の市債残高は、一般会計194億2,600万円、市全体では439億1,300万円を見込んでいます。

### 【歳出】

**問** コミュニティバス負担金(3,668万円)について。

**答** 現在、神姫バスに運営・運行業務を委託している「ねっぴ〜号」に、鎮岩工業団地・播磨農高・北条高校を經由するフラワーセンター線を新たに路線拡大します。



**問** 北条高校活性化事業は対象がなぜ北条高校だけなのか。

**答** 「北条高校を活性化することが加西市の活性化につながる」という目的のもと、北条高校活性化協議会において検討された結果ではあるものの、今後は、市内の播磨農高とのバランスについても考慮する必要があると認識しています。また、北条高校という県の施設を使用して事業実施することについては「地域と一体となった取り組みに対して、高校という場所を提供する」という理解のもとで、実現に至っているものです。

**問** 健康かさい21計画策定事業の重点ポイントについて。

**答** 従来からの生活習慣病の予防・重症化予防・健康寿命の延伸・健康格差の解消に、住み心地のよさ・近隣との信頼関係・社会資源を活用した健康づくり・生活習慣病の重症化予防の視点を加え、また、減塩対策についても取り組みたいと考えています。



**問** わかあゆ園を構成する4市1町からの通所子供数には差があるが、現在の運営負担金は均等割と人口割で算定されている。例えば、実績割や利用状況による算定方法を加えるなどの検討をしようか。

**答** 議論する時期が来ていると思うので、今後担当課長の幹事会等での議論を経た後に、管理者会で議論していきたいと考えています。

**問** 五百羅漢公衆トイレを改修ではなく移転新築とした理由について。

**答** 昭和54年に建築された現在のトイレは、路盤が傾斜の位置にあるため、車椅子の方や足腰の弱い方へのバリアフリー対応が難しいことと、加えて、歴史的景観形成地区であるため、県策定の景観ガイドラインに沿う風情にしたいとの理由からです。

**問** 若者就職支援事業について。

**答** 市内で需要があるのは理系の学生が主であったため、一昨年から阪神間の工学系大学を回り、大学や日経就職ナビの就職説明会においてPR活動をしてきました。就職ナビサイトをはじめ、様々な活動を充実させ取り組んでいきたいと考えています。